

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p style="text-align: center;">たのしむ</p> <p style="text-align: center;">①自転車 レースイ ベ ントの開催</p>	<p>①-1 国際的サイクルレースの開催</p> <p>《事業概要》 スポーツの振興及びスポーツを活用し、地域の経済の活性化などを図ることを目的に、「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」を開催します。</p> <p>《活動指標》年1回の継続開催 《成果指標》来場者数10万人以上 《貢献目標》<input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【スポーツイベント課】 ・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催支援 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>	<p>【スポーツイベント課】 ・国際自転車競技大会開催の本市での継続的な開催に向けて、大会の実施主体である（一社）さいたまスポーツコミッションと連携し、調整を行う。</p> <p>《課題・留意点》 ・本市の更なる負担軽減と継続的な開催の両立 ・新型コロナウイルス感染症への対策</p>
	<p>①-2 市民サイクルイベントの開催・支援</p> <p>《事業概要》 「自転車によるまちづくり」を市民に身近に感じてもらうことを目的に、市民参加型のサイクルイベントを開催・支援します。</p> <p>《活動指標》 イベント開催・支援数5回/年以上 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・2020サイクルフェスタ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>【スポーツイベント課】 ・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムtoward2021 ONLINE RIDE チャレンジの開催支援 開催日：令和3年1月9日～17日（9日間） 参加人数：341人 開催内容：スマートフォンGPSアプリを使用し、好きな時間に好きなところを走行して累計100kmの走破を目指すもの。</p> <p>【スポーツ政策室】 ・親子向けアーバンスポーツ体験パーク「SAITAMAPARKS」 開催日：令和2年10月11日から12月20日までの土日祝 場 所：美園駅北陸橋高架下、美園三丁目第2公園、大門上池調節池 来場者数：1,566人（大人：767人、子ども：799人） 開催内容：子育て世代の親子を対象としたアーバンスポーツの体験イベント（BMX・キックバイクの体験エリア等）</p> <p>・秋ヶ瀬の森バイクロア10 開催日：令和2年12月5日（土）・6日（日） 場 所：秋ヶ瀬公園 こどもの森とその周辺エリア 来場者数：4,453人（レース参加者含む） 開催内容：「シクロクロス」スタイルの自転車レース 自転車、アウトドア、アパレル、雑貨、飲食、クラフトなどのブース出展</p> <p>【西区コミュニティ課】 ・第8回西来るフェスタ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・2021サイクルフェスタの開催に向け取り組んでいく。</p> <p>【スポーツ政策室】 ・市民向けアーバンスポーツ体験イベント「アバスポさいたま」の開催 ・「氷川参道おもてなし事業と連携したBMX等アーバンスポーツイベント」の開催 ・イベントの誘致・広報支援 （CHIMERA A-SIDE THE FINAL 2021、秋ヶ瀬バイクロア）</p> <p>【西区コミュニティ課】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した内容での開催を予定している。</p> <p>《課題・留意点》 【自転車まちづくり推進課】 ・さいたまクリテリウムと必要な調整を行いながら開催内容を検討し、実施していく。</p> <p>【スポーツ政策室】 ・新型コロナウイルス感染症による市主催イベントの開催の可否が不透明である。 ・サイクリング推進のために、安全で快適な生活道路の整備等、サイクリング環境の整備の進捗状況に合わせていく必要がある。</p> <p>【西区コミュニティ課】 ・目的を持って会場に足を運んでもらえるよう、事業のテーマやターゲットを明確に決めて事業を計画する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した内容を検討する必要がある。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>②サイクリングコースの環境整備</p>	<p>②-1 レクリエーションルートの整備</p> <p>《事業概要》 市内の豊かな自然や地域資源を活かして、サイクリングが楽しめるレクリエーションルートの設定を検討し、余暇のサイクリング環境の創出を図ります。</p> <p>《活動指標》 令和2年度までに整備 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・広域的なサイクルツーリズムの推進に向けて、周辺自治体等との意見交換を実施</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・ツーリズムの推進体制の構築に向けて、周辺自治体等との協議を実施。</p>
	<p>②-2 サイクリングマップの作成</p> <p>《事業概要》 サイクリングコースやサイクルサポート施設、観光施設の関連情報をまとめた、使いやすいマップの作成・配布を検討します。</p> <p>《活動指標》 平成30年度までにマップを作成 《成果指標》 情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・サイクリングマップ2種類（大宮・新都心駅周辺マップ、緑区・見沼たんぼ周辺マップ）について、各2,000部印刷し、各区役所情報公開コーナーや観光案内所、各支所等に配布</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・サイクリングマップの印刷・配布を継続的に実施</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>③自転車の まちの魅力 向上</p>	<p>③-1 自転車のまちの情報発信、官民連携による企画検討</p> <p>《事業概要》 ホームページやSNS等を活用して、市の自転車関連情報や市内自転車関連団体の活動等、“自転車のまち さいたま”の情報発信を行います。</p> <p>《活動指標》平成29年度までに情報発信サイトを開設 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたまはーとFacebookページを通じて、自転車施策等の情報発信を実施。 <p>〈発信内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> パパママ自転車安全推進サポーター BeautifulRideキャンペーン（マナーアップ） さいたまディレーブ さいたまはーと推進協議会 など 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続きSNSによる情報発信を行う。 民間事業者が運営しているシェアサイクルのスマホアプリ上に自転車関連情報のポップアップを表示するなど、官民連携による情報発信の仕組みについて検討する。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> FacebookのみならずTwitterやInstagramなど、その他のSNSの活用も視野に入れ、より広域に広報活動を行う必要がある。 民間企業のSNSアカウントと相互連携するなど、官民連携による企画を検討する必要がある。
	<p>③-2 サイクルパークの設置</p> <p>《事業概要》 自転車の楽しさを日常的に体験できる場として、サイクルパークの設置や、既存施設を活用した自転車に親しめる環境創出を検討します。</p> <p>《活動指標》平成31年度までに基本計画を策定 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過年度の検討より、サイクルスポーツに特化しない幅広い層をターゲットとする必要性を踏まえ、サイクルパークに求められる視点、コンセプトの整理を行うとともに、国内外事例や市内既存施設の調査を行い、ケーススタディとして取りまとめた。また、体験型ソフト施策として、スポーツ少年団をターゲットとした自転車教室を実施した。 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたま市のサイクルパークとして必要な機能とその実現方法の検討を行う。検討を行うにあたり、庁内調整及び検討部会の開催を実施し、意見聴取を行う。 体験型ソフト施策を試行的に展開する。 サイクルパーク構想素案の作成を行う。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 配置場所、事業費等の調整が必要である。 ソフト施策を展開するにあたり、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要がある。

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>④コミュニティサイクル事業の推進</p>	<p>④-1 コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大</p> <p>《事業概要》 大宮駅周辺エリア約3km圏で実施しているコミュニティサイクルについて、自転車利用の多い鉄道駅周辺に、ポートを増設し、移動円滑化、周遊を促します。また貸出しの需要に対応するよう、運営の活性化を図ります。</p> <p>《活動指標》平成29年度までにエリア拡大を実施 《成果指標》利用回数 30万回/年以上 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・さいたま市コミュニティサイクル 事業区域：大宮駅周辺エリア約3km圏内 利用回数：102,337回/年度</p> <p>・さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験において、移動データの収集やサイクルポートの利用状況の分析等を行った。 事業区域：さいたま市全域 利用回数：51,722回/月（R3.3時点）</p> <p>【未来都市推進部】 ・「のびのびシティさいたま市」「日経プラス10」等の美園地区でのスマートシティに係る取材において、シェアサイクルを紹介するなど、周知PRを実施した。 ・新型コロナウイルスの影響により増えたデリバリー需要と飲食店支援を鑑み、飲食店でのデリバリー用として、民間事業者の協力を得てシェアモビリティの無償利用を実施し、飲食店舗の敷地へのポート拡大へも繋がった。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・さいたま市コミュニティサイクルからシェアサイクルへの移行を検討する。 ・シェアサイクルについては、ポートの高密度化を進めるとともに、データを収集・分析し、事業の継続性の検証等を実施する。</p> <p>《課題・留意点》 ・コミュニティサイクルからシェアサイクルへの移行にあたり、利用者への周知やシステムの切替をスムーズに実施する必要がある。</p>
	<p>④-2 コミュニティサイクルの車両多様化</p> <p>《事業概要》 現在のコミュニティサイクルについては、多くの方に利用してもらえよう、小径（20インチ）の自転車を採用していますが、幅広い用途の要望もあることから、車両の多様化を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までに車両多様化の導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・さいたま市コミュニティサイクル事業において、大宮駅西口ポートに電動アシスト自転車（チャイルドシート無し）やクロスバイクのレンタルサービスを行った。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・コミュニティサイクルをシェアサイクルに切り替えることで、電動アシスト付自転車によるシェアリングサービスを展開する予定。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図ることを目的として、事故率が高い学生や、死傷率が高い高齢者を中心に、交通安全教室を実施します。</p> <p>《活動指標》250回/年、2万人/年以上に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室（出前講座）について、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、4～9月の期間を中止とした。 10月から再開し、小学生や高齢者を対象とした交通安全教室を開催した。 小学校 11校 参加者数 468人 高齢者 1回 参加者数 26人 自転車の交通安全教室の動画を作製し、Youtubeで自由に視聴できるようにした。 視聴回数155回 <p>参考URL https://www.city.saitama.jp/001/010/018/006/p043031.html</p>	<p>【市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から7月にかけて、小学校で交通安全教室を実施 シニアユニバーシティのカリキュラムに交通安全教室を入れることで高齢福祉課と調整中。12月実施予定。 <p>《課題・留意点》 【市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の開催が、申請に基づくものになるため、コロナウイルス感染症の影響により申請数が減少することが想定される。 新たな動画の公開やDVDの貸し出しなど、直接現場に出向かずに交通ルールやマナーを学ぶ方法の検討が必要
	<p>①-2 スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 市内の中学生、高校生を対象に、スタントマンによる模擬の交通事故を見学し、「恐れ」を体感することで、交通安全意識の向上を図る、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教育を実施します。</p> <p>《活動指標》3年間で全ての市立中・高等学校に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【健康教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度は実施を見送った。 	<p>【健康教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立中学校9校、市立高校2校の計11校で実施予定。 また、安全教室の手法については、スケアードストレイト教育技法に限らず、競技自転車のプロチーム等と連携した安全教室の開催を予定。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より実施校を半数とし、6年間で全ての市立中・高等学校を対象に交通安全教室を実施することとなった。

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①-3 子ども自転車運転免許制度</p> <p>《事業概要》 自転車を利用する小学生に対して、早い時期から自転車の安全な乗り方を身に付けさせ、交通安全に対する意識を高め、児童の将来にわたる長期的な交通事故防止に資することを目的とし、安全講習を開催し、子ども自転車運転免許を交付します。</p> <p>《活動指標》 全ての市立小学校で、講習の開催 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【健康教育課】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から警察署による実技試験を中止し、市立小学校104校で教員による座学での安全講習・学科試験を実施。合格者に免許を交付した。</p>	<p>【健康教育課】 ・全ての市立小学校を対象（原則として小学4年生）に、安全講習の開催、免許証の交付の取組を継続する。</p> <p>《課題・留意点》 ・小学生の自転車事故が、0件になるよう取組を継続していく。</p>
<p>まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-1ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置</p> <p>《事業概要》 「自転車＝車両」という意識が低いことから、意識改善・啓発のために、自転車通行環境などの整備と併せ、ルール・マナー啓発に資するサインを設置します。</p> <p>《活動指標》 自転車通行環境帯の整備と併せたサイン設置 《成果指標》 ルール・マナーの改善、歩道走行台数3割減 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・学識経験者や交通管理者等から構成する会議（さいたま市自転車走行環境効果検証会議）において、自転車通行環境の整備箇所における看板やピクトグラムによる啓発ターゲット等について意見交換を実施。</p> <p>【市民生活安全課】 市民からの要望または交通事故が実際に起きた場所などを中心に立て看板や電柱巻看板を設置。 令和2年度の実績は64箇所に設置した。 【内訳】大宮区4箇所、見沼区2箇所、中央区4箇所、桜区8箇所、浦和区15箇所、南区25箇所、緑区1箇所、岩槻区5箇所</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・学識経験者や交通管理者等とともに、自転車通行環境の整備実施箇所（生活道路等含む）等における効果的なルール・マナーの意識啓発について検討する。</p> <p>【市民生活安全課】 ・引き続き設置を実施していく。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-2自転車保険加入、ヘルメット着用、自転車整備方法の周知・普及促進</p> <p>《事業概要》 自転車保険の必要性、加入方法等の情報提供により、周知・普及を図るほか、児童へのヘルメット着用徹底や、高齢者への着用促進を図ります。また、普段からの自転車点検、整備方法に関する情報提供を行います。</p> <p>《活動指標》 交通安全教室等での周知 2万人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業（3人乗り電動アシスト付自転車購入補助）における自転車安全講習会等で、ヘルメットや保険について周知を行った。 ・市職員向け自転車安全講習会において、自転車のルール・マナー及び「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」について周知した。 ・自転車の交通ルールや快適利用の知識を掲載した、自転車安全啓発冊子（「一般向け」、「子育て世代向け」の2タイプ）について、冊子内容を活用した企業ホームページや県による安全冊子の作成といった、民間企業や埼玉県と連携した活用を行った。</p> <p>【市民生活安全課】 ・交通安全教室や街頭啓発活動等において、正しい自転車利用の啓発を実施した。 また、自転車損害保険等加入義務化を定めた「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」のチラシ及びポスターを作成、配布するほか、市報やホームページへの掲載等様々な情報ツールを活用して幅広く周知した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課】 ・パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業における自転車安全講習会をはじめとした研修、講習会や街頭啓発活動等において、正しく安全な自転車利用の啓発を実施する。 ・「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」について、より一層の広報活動を実施する。</p> <p>【市民生活安全課】 ・交通安全教室や街頭啓発活動等において、引き続き正しい自転車利用の啓発、「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」の周知を実施。</p> <p>《課題・留意点》 ・義務化は知っているも自転車損害保険に加入していないケースがあるため、保険への加入促進に関する取り組みが必要。</p>
	<p>②-3 自転車安全利用の人材育成</p> <p>《事業概要》 自転車の安全利用を推進・啓発するため、自転車安全利用の人材育成に取組み、利用者のルール遵守、マナーの向上を目指します。</p> <p>《活動指標》 自転車利用模範推進員の任命200人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業として、自転車安全講習会を開催した。 ・また、講習を受けた者を自転車安全推進サポーターに認定し、模範的な自転車利用及び周囲への安全啓発に努めていただいた。 パパ・ママ自転車安全推進サポーターの認定者数 153人</p> <p>・正しく安全な自転車の利用や「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」を周知するため、市職員向けの自転車安全講習会をeラーニングを活用し、実施した。 実施日：令和3年2月～3月 参加人数：315人 講習内容：自転車の交通ルール・マナー 条例内容について</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業を実施し、年間約200人のサポーターを募集し、自転車安全講習会の受講、自転車利用に関するアンケート調査や自転車安全に関する情報発信等、自転車安全利用の啓発活動を実施する。 ・市職員向けの自転車安全講習会を実施する。</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車安全推進サポーターとして、より多くの方の認定を行う必要がある。</p>


さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-4 自転車安全利用に関する広報・啓発</p> <p>《事業概要》 自転車利用者の交通マナーの向上と自転車に関する交通事故防止を図るために、「街頭啓発活動」を関係機関と連携し実施します。「広告媒体によるルールへの周知・啓発」を行うほか、「ドライバーへの安全啓発」を検討します。</p> <p>《活動指標》 啓発活動の実施、1万3千人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・学識経験者や交通管理者等から構成する会議（さいたま市自転車走行環境効果検証会議）を設置し、自転車のルール・マナー等の啓発の取組について検討を行った。</p> <p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課・各区暮らし応援室】 ・交通安全教室や街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施した。 ・「さいたま市自転車のまちづくり推進条例」のチラシを配付したほか市報、ホームページへの掲載等様々な情報ツールを活用して幅広く周知した。 ・「BEAUTIFULRIDE」キャンペーン 埼玉県及び埼玉県警察と合同で、自転車利用者等に対し、自転車通行環境の周知と安全利用の呼びかけを実施。 開催日：令和2年9月30日（水） 場所：さいたま市浦和区常盤地内 市役所前通り（知事公館付近）</p> 	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・自転車安全利用コミュニケーションワード 「Beautiful Ride」を活用した自転車安全利用の周知啓発を行う。</p> <p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課・各区暮らし応援室】 ・引き続き交通安全教室や街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施する。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>①自転車通行環境の整備</p>	<p>①-1 自転車ネットワーク整備路線の整備</p> <p>《事業概要》 平成26年4月に策定した、さいたま市自転車ネットワーク整備計画に基づき、自転車交通量の多い路線や、自転車関連事故の多い路線などで、安全で安心な自転車通行環境の整備を実施します。</p> <p>《活動指標》 令和5年度までに、約200kmを整備 《成果指標》 自転車通行環境改善、歩道走行台数3割減 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ネットワーク路線の整備 令和2年度整備実績 約30km (H26~R2累計 約155km) <p>【自転車まちづくり推進課・道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車通行環境の効果検証 学識経験者や交通管理者等から構成する会議（さいたま市自転車走行環境効果検証会議）を設置し、整備済み自転車通行環境の効果検証方法や、道路の幅員や交通量などの地域の実情に合わせた整備形態についての意見交換を行った。また、意見交換の結果を効果検証計画に反映するとともに、令和2年度は自転車通行環境整備済み路線での交通量調査、バス・タクシー事業者及び沿線高校を対象としたアンケートを実施し、整備効果の検証を部分的に行った。 	<p>【道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ネットワーク路線の整備 自転車利用者のニーズや道路環境の状況を踏まえ、交通管理者と連携し、整備を進める。 (整備予定：25km) <p>【自転車まちづくり推進課・道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車通行環境の効果検証 令和2年度に引き続き、効果検証会議を開催し、関係者との意見交換を行いながら、地域の実情にあわせた整備形態での試験施工や、既整備路線と試験施工路線でのヒアリング調査等を実施し、自転車通行環境の効果検証を行う。 <p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ネットワーク整備計画改定 さいたまはーと改定内容及び自転車通行環境効果検証会議を踏まえて、計画を改定する。
	<p>①-2 交差点等危険箇所の重点的な改善</p> <p>《事業概要》 交差点などのクルマとの交錯危険性が高い箇所、歩行者との事故が多い箇所、幅員が狭く交通量が多い区間など、危険箇所の点検・改善を実施します。</p> <p>《活動指標》 交差点等危険箇所の対策メニューの作成 《成果指標》 自転車事故減少に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・道路環境課】</p> <p>学識経験者や交通管理者等から構成する会議（さいたま市自転車走行環境効果検証会議）において、交差点での事故防止対策について意見交換した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・道路環境課】</p> <p>令和2年度に実施した意見交換結果を踏まえて、交差点での事故防止対策の試験施工を行い、その効果を検証する。 また、自転車ネットワーク整備計画をもとに警察との協議を行い、自転車ネットワークの整備を通して危険箇所の改善に努めていく。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>②公共交通機関との連携</p>	<p>②-1 公共交通結節点の環境整備</p> <p>《事業概要》 サイクル&バスライドの検討や、バス事業者やコミュニティバスと連携し、駐輪場やコミュニティサイクルの利用促進策を検討します。他、輪行時の自転車分解・組立スペース等、公共交通との連携可能性の検討を進めます。</p> <p>《活動指標》 平成31年度から交通事業者との連携を実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・交通政策課】ソフト施策として以下を実施。 ・さいたま市バス路線マップへサイクリングロードを掲載。 ・北区コミュニティバスルートガイドへコミュニティサイクルポートを掲載。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・交通政策課】 ・ソフト施策を継続して実施する。</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車利用とバス利用の関連性については、ニーズを把握した上で、効果的な施策の検証が必要。</p>
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-1 サイクルサポート施設の認定・設置</p> <p>《事業概要》 自転車ネットワーク路線やレクリエーションルート沿道中心に、トイレや休憩所などの「サイクルサポート施設」の設置を検討します。</p> <p>《活動指標》 平成29年度までに、市内全域のサポート施設の開設 《成果指標》 市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・サイクルサポート施設「サイクルステーション」の募集を行い、サイクリングロード近辺の民間施設を中心に9施設の認定を行った。</p> <p>R2年度認定施設（9施設） ・fortune café べるる ・レッズランド ・大宮工房館 ・ふた井とパンのお店 Bamboo ・厚澤 ・GARDENcafe'Plus1 ・麺's 食事処 神藤 ・見沼ヘルシーランド ・セブンイレブン さいたま大谷口店</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・引続き施設の募集及び認定を継続し、民間店舗等に登録を働きかける。また、認定した施設については、市HP等によるPRを行う。 (目標：年間7施設の認定)</p> 

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-2 電動アシスト付き自転車等の利用啓発</p> <p>《事業概要》 近距離での移動を車に頼りがちになってしま う世代に対し、電動アシスト付自転車等の高 機能な自転車の利用啓発を推進し、自転車利 用の促進を行います。</p> <p>《活動指標》 電動アシスト自転車貸出し（200台/年）の実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業 （3人乗り電動アシスト付自転車購入補助） 市内在住で、1歳以上小学校就学までの始 期が1年以上ある子どもを2人以上養育する 者に対し、自転車安全講習会を受講してい ただき、自転車安全啓発に協力いただく自転車 安全推進サポーターに認定すると同時に、3 人乗り電動アシスト自転車の購入費の2分の 1（上限30,000円）を補助する。 令和2年度は、153名のサポーターを認 定した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・引き続き、パパ・ママ自転車安全推進サ ポーター事業を継続し、年200名程度のサ ポーター認定及び3人乗り電動アシスト付自 転車の購入補助を行い、自転車の安全利用及 び自転車活用の促進を図る。</p>
	<p>③-3 自転車利用促進事業者認定制度の導入</p> <p>《事業概要》 環境問題や、健康増進の面から、自転車利用 を推進している事業者に対し、事業者単位 での取組が推進されるよう、認定制度の導入を 検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、令和2年度までに導入 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-4 自転車利用優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 健康増進や環境負荷軽減として、市民の自転車利用促進・啓発のために、自転車をより多く利用した方を優遇する制度の導入や、健康マイレージ制度との連携などを検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、令和2年度までに導入 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>
	<p>③-5 新たな自転車車両の普及・研究</p> <p>《事業概要》 タンDEM自転車の公道での走行の検討や、環境負荷軽減に資する低炭素型パーソナルモビリティ「電動二輪モビリティ」などに関する研究開発を行います。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、令和2年度から活用を実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【産業展開推進課】 ・芝浦工業大学内における、継続的な研究の実施。</p> 	<p>【産業展開推進課】 ・自転車の転倒防止システムの更なる小型化・軽量化に向けた研究開発を支援する。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-1 駐輪場の適正配置の推進</p> <p>《事業概要》 鉄道駅への自転車通勤・通学者の利便向上のために、駐輪場の適正配置を推進します。主要駅周辺の駅へ向かう動線上への配置など、利用しやすい駐輪場の配置を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度から適正配置計画の推進 《成果指標》放置自転車数 1割/年削減 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正配置の推進のため、「さいたま市自転車等駐車場補助金制度」を活用し、さいたま新都心駅など特定の駅に、民間駐輪場整備を誘導した。 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、調査検討結果に基づき民間駐輪場の整備を誘導していく。 ・自転車駐車場整備の方向性について、調査検討業務を実施し、その結果を自転車駐車場対策協議会に諮問する。
	<p>①-2 民間事業者による駐輪場整備の支援</p> <p>《事業概要》 一定要件を満たす民間駐輪場の新設・増設について、その設置者に対して整備費用の一部を補助するなど、民間事業者への支援を行います。</p> <p>《活動指標》民間駐輪場の新設2箇所、300台/年以上 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付実績(1件) 交付箇所：南浦和駅東口 交付金額：1,120,000円 駐輪台数：56台 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、補助金制度による民間駐輪場の整備の誘導・支援を行っていく。 ・補助金制度の周知用チラシを作成し、市施設等での配布を実施する。

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-3 駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進</p> <p>《事業概要》 「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づき、駐輪需要を生じさせる集客施設や商業施設への駐輪場の附置を推進します。</p> <p>《活動指標》 附置義務条例等に応じた駐輪場の確保 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づく指導を行った。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・引き続き、条例及び基準に基づく指導を行う。</p>
	<p>①-4 駐輪優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 駐輪場利用者への店舗での割引特典の付与等、買い物客などの積極的な駐輪場利用につながる優遇制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、令和2年度までに導入 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 —</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-5 駐輪場の情報発信の充実</p> <p>《事業概要》 市内各駅の駐輪場の情報を様々な媒体により提供し、利用案内の充実を推進します。また、近隣の商業施設等と連携した、周辺施設案内へのリンク等の付加情報の提供など、更なる情報発信の充実を推進します。</p> <p>《活動指標》 案内システムのアクセス 1万4千件/月以上 《成果指標》 情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・市ホームページやチラシにより駐輪場の案内を実施した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・引き続きホームページやチラシにより、情報発信を行う。</p>
	<p>①-6 利用者サービスの充実</p> <p>《事業概要》 スポーツバイク等、多様な車両への駐輪への対応を、施設特性に応じて市営施設の改修等により実施します。</p> <p>《活動指標》 全市営駐輪場での付加サービス機能の向上 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・市営大宮駅西口桜木町自転車駐車場（B2F）にフットレバー式スライドラックを導入した（令和元年第1期修繕、令和2年第2期修繕、令和3年第3期修繕）。 ・市営大宮駅西口桜木町自転車駐車場（B1F、B2F）の天井漏水修繕を実施した。 ・指定管理者独自のサービスとして、電動空気入れの設置、雨天時のタオル貸出、自転車故障時の代車貸出等を行った。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・市営自転車駐車場において利便性向上に寄与する市営大宮駅西口桜木町自転車駐車場サイクルラック修繕（第3期修繕最終工区）等を積極的に実施する。 ・現指定管理者における独自サービスを推進していく。</p> <p>《課題・留意点》 ・指定管理者独自のサービスは今後も継続するが、ニーズに応じた有料サービスについては、令和3年度以降の導入に向け調整を行う。</p>

さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	令和2年度 取組結果	令和3年度 取組予定
<p>とめる</p> <p>②放置自転車の解消</p>	<p>②-1 放置自転車対策（指導・撤去・啓発）の強化</p> <p>《事業概要》 公共の場所における放置自転車等の対策として、放置自転車等監視・撤去業務を実施します。</p> <p>《活動指標》 放置自転車台数調査毎年実施 《成果指標》 放置自転車撤去数1割減/年 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 （放置自転車監視）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内各駅周辺の自転車等放置禁止区域に原則、平日の午前8時から午後2時まで、監視員を配置。 注意喚起、駐輪場への案内・誘導 放置自転車への撤去の警告札の取付け等 <p>（放置自転車撤去）</p> <ul style="list-style-type: none"> 午前9時以降、駅周辺を巡回し、車載放送で撤去の案内を広報 順次、警告札が付いた自転車を撤去し、保管所へ移送 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、放置自転車対策を実施していく。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 放置自転車台数は長年の取組みにより漸減傾向が続いており、現在は業務の効率化やコスト削減が事業のテーマになりつつある。 撤去自転車を返還するときに徴収する手数料について、現在は1,000円だが、他の自治体では5,000円以上のところもあり、金額の妥当性と手数料の改定について、検討する必要がある。
	<p>②-2 放置自転車の活用</p> <p>《事業概要》 放置自転車として撤去された、引き取り手のない自転車について、リサイクル整備による市民向けの販売や、開発途上国へ譲与する、国際貢献事業を実施します。</p> <p>《活動指標》 開発途上国への120台/年の譲与 《成果指標》 市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き取り手のない撤去自転車の有効利用策として、再生自転車を開発途上国の母子保健活動の交通手段に活用してもらうため、「再生自転車海外譲与自治体協議会（さいたま市、大田区、世田谷区）」を通じて海外譲与を行った。 <p>令和2年度譲与実績 110台</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続した取り組みを実施する。